

研究課題名： 胃液を用いた新規ピロリ菌感染診断検査：スマートジーン H pylori G と血清ピロリ抗体価検査の比較

研究責任者： 宮城県対がん協会 浅沼 清孝

1. 研究の対象

2025 年 1 月 8 日（倫理委員委員会承認後）から 2027 年 3 月 31 日までに宮城県対がん協会にて上部内視鏡検査を受け、同日に血清ピロリ抗体価検査を施行した患者で、本検討への参加に文書（別紙参照）にて同意を得られた方

2. 研究目的・方法

上部内視鏡検査時に胃液を採取し、スマートジーン H pylori G (MIZUHO MEDY Co., Ltd. SAGA, Japan) を用いてピロリ感染とクラリスロマイシン耐性を測定する。その結果と血清ピロリ抗体価検査を用いたピロリ感染診断結果と比較し一致率を算出します。また除菌前の患者の場合は治療結果とクラリスロマイシン耐性結果との関連を検討します。研究期間：2025 年 1 月 8 日（倫理委員委員会承認後）から 2027 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

胃液を試料としてスマートジーン H pylori G を用いて測定した、ピロリ菌感染の有無とクラリスロマイシン耐性結果。性、年齢、内服薬、内視鏡画像所見や治療紹介先病院からのピロリ検査結果等の臨床情報を使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先：宮城県対がん協会 がん検診センター 浅沼清孝、022-263-1525